

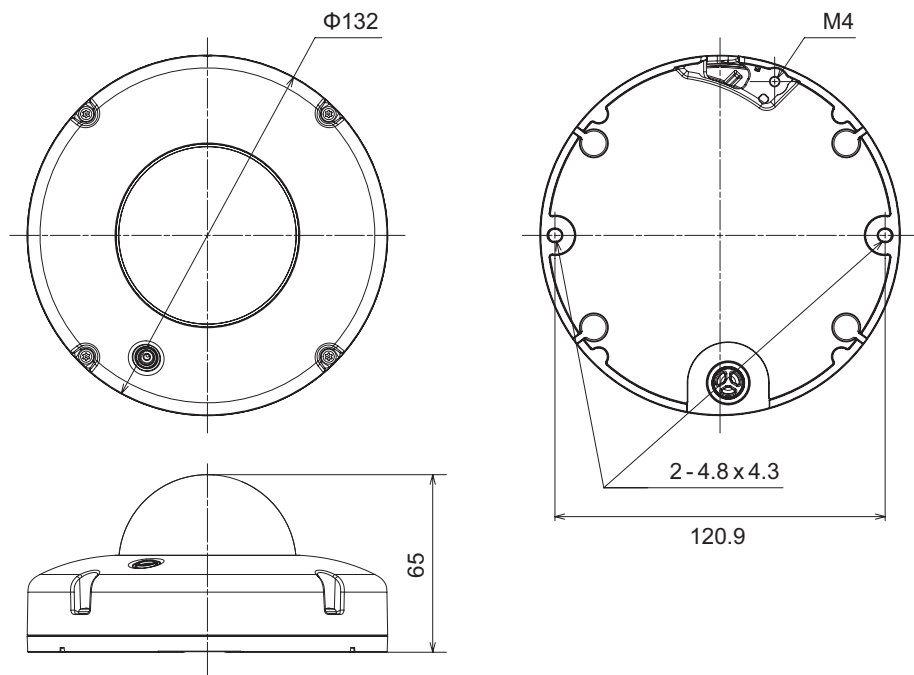
Canon

ネットワークカメラ

VB-S32VE

設置ガイド

JA



単位: mm

「安全にお使いいただくために」の項を必ずお読みになり、正しくご使用ください。



注意

設置工事は必ず専門の工事業者に依頼し、お客様ご自身では絶対に設置工事をしないでください。落下・感電など、思わぬ事故の原因になります。

同梱品

| | |
|---------------------------------|---------------------|
| カメラ | 落下防止用ワイヤー、ネジ M4 (1) |
| 印刷物一式 | 型紙 |
| RJ45 カプラー | 専用レンチ |
| I/O インターフェースケーブル (BK2-0078-000) | 防水テープ |

使用説明書について

■ 使用説明書の種類

カメラの設置に関連するガイドには、次のものがあります。

「設置ガイド」(本書)

カメラ設置上の注意、設置手順を説明しています。

「操作ガイド」

カメラの初期設定、カメラビューワの操作、設定ページでの各種設定、トラブルシューティングなどを説明しています。

「主な仕様」

カメラの仕様一覧です。

■ ご注意

本書の内容の一部または全部を無断で転載することは禁止されています。

本書の内容について、将来予告なしに変更することがあります。

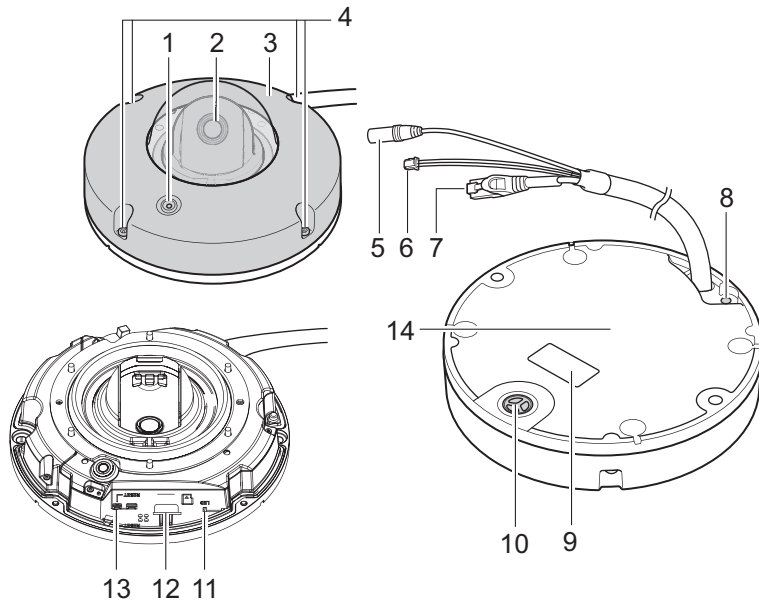
本書の内容については万全を期して作成しましたが、お気づきの点がございましたら、裏表紙に記載のお問い合わせ先までご連絡ください。

運用した結果の影響につきましては、上記にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。

商標

- ・ microSD、microSDHC、microSDXC ロゴは SD-3C, LLC の商標です。
- ・ その他、本書に記載された商品名、社名などは各社の商標または登録商標です。

各部の名称



- 1. マイク
- 2. カメラヘッド
- 3. トップカバー
- 4. トップカバー固定ネジ
- 5. 音声出力端子 (P. 15)
- 6. 外部デバイス入出力端子 (P. 13)
- 7. 100Base-TX LAN コネクター (P. 13)
- 8. 落下防止用ワイヤー取り付け部
- 9. ラベル^{*1}
- 10. 通気口
- 11. LED^{*3}
- 12. メモリーカードスロット
- 13. リセットスイッチ^{*2}
- 14. 定格記載部

*1: シリアルナンバー [Serial No.] とマックアドレス [MAC address] はカメラを設置する前に控えておくことをおすすめします。

*2: リセットの方法は『操作ガイド』参照

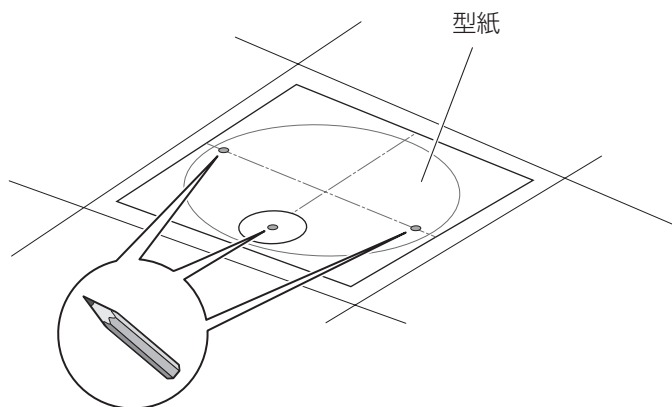
*3: LED

| LED | 状態 |
|-----|-----------------------------------|
| 点灯 | 電源投入時、再起動時、通常使用時（[点灯する] に設定した場合*） |
| 点滅 | ファーム更新中、設定値初期化中 |
| 消灯 | 起動時に数秒間点灯後、消灯（[消灯する] に設定した場合*） |

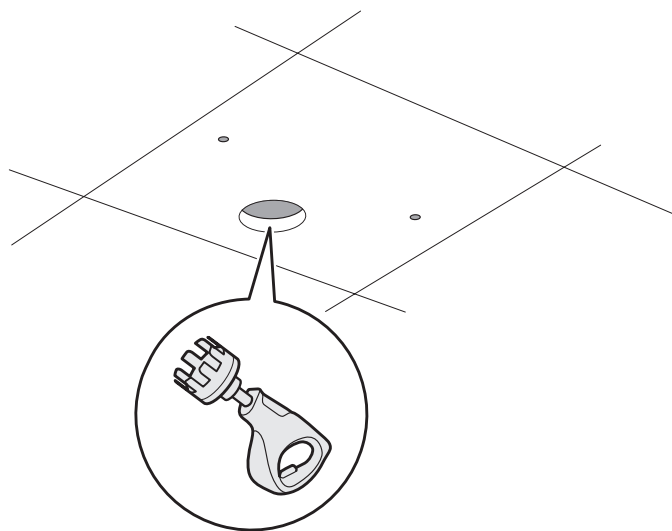
*: 「操作ガイド」参照

カメラを設置する

1

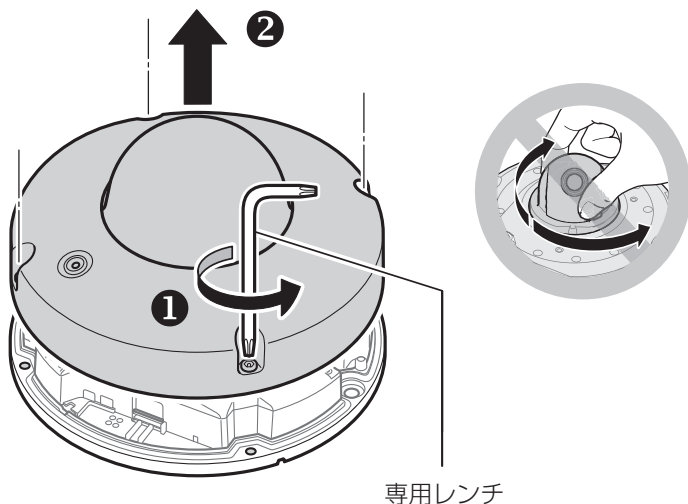


2

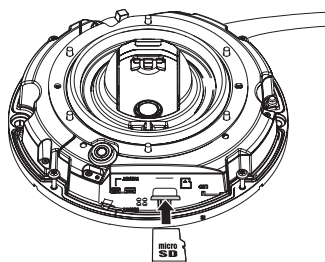


III カメラを設置する

3



トップカバーを外します。
メモリーカードをご利用の場合は、このタイミングで入れてください。



メモリーカードを取り出すときは、カードを奥まで押しと少し飛び出すので、指でつまんで引き出してください。

本書では、カメラで使用できるメモリーカードのことを「メモリーカード」と表記しています。

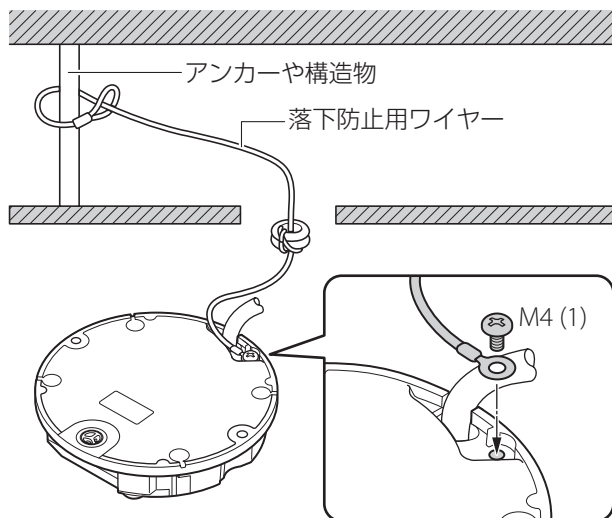
micro
SD

micro
SD
GC

micro
SD
XC

カメラを設置する

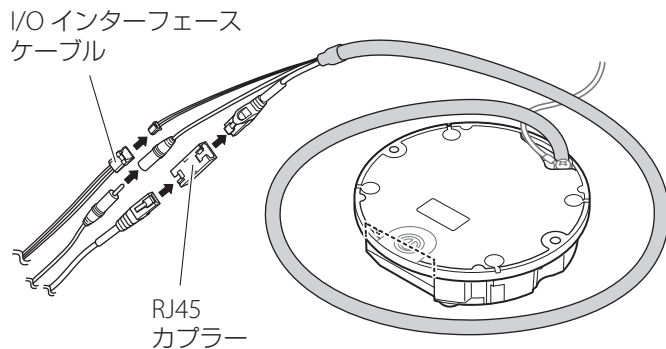
4



落下防止用ワイヤーをアンカーや構造物にしっかり取り付けます。
天井側に付けた後に、カメラ側にも落下防止用ワイヤーを、同梱のネジで固定します。

III カメラを設置する

5



ケーブル類をカメラに接続します。

電源、外部デバイス入出力端子、音声出力端子については「カメラを接続する」(P.13)を参照してください。

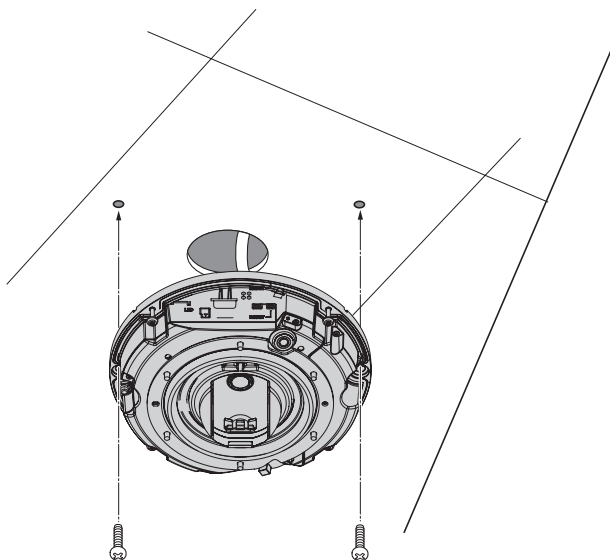
重要

カメラに電源が入るとカメラヘッドが動き、音がします。

- カメラヘッドには触れないでください。
- カメラヘッドの動きが停止した後、カメラを取り付けてください。
- ケーブル接合部やオプション品に水がかかる場合は、接合部に防水テープ(同梱)を巻いてください。(「屋外設置時の留意点」(P.9)参照)

カメラを設置する

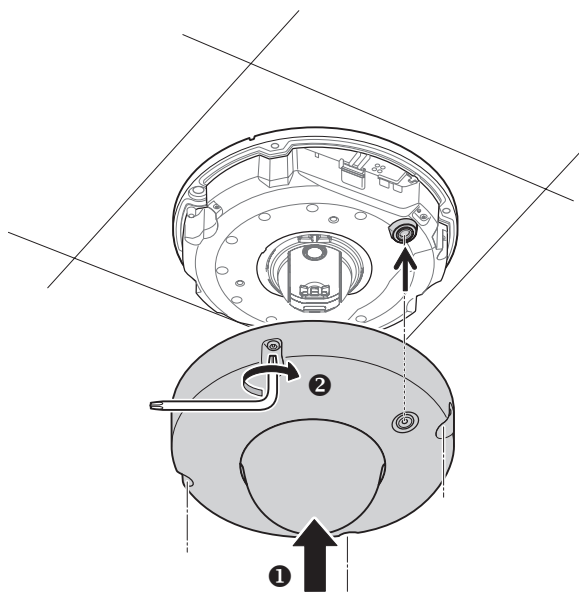
6



カメラを設置場所に固定します。

取り付け用ネジは別途ご用意ください。(呼び径:M4、頭の形状:なべ、本数、2本)

7



トップカバーを取り付けます。

防水性を確保するため、ネジをしっかり締めてください。

|| カメラを設置する

屋外設置時の留意点

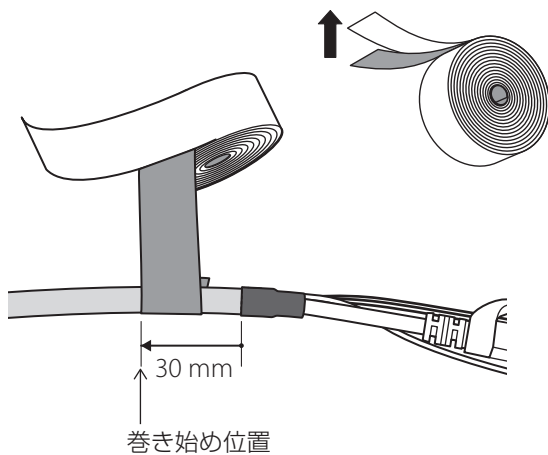
- ケーブルの接続部それぞれに絶縁テープを巻いて絶縁処理をしてください。
- カメラ本体は防塵防水仕様（IP66）に適合していますが、外部機器と接続するケーブルの端部は防塵防水仕様ではありません。少しでも水がかかる可能性のある場所に設置するときは、ケーブル接合部および絶縁処理した使用しないケーブルの端部の全体に防水テープ（同梱）を巻き、確実に防水処理をしてください。防水テープを巻く手順は「防水テープの巻き方」(P. 10)を参照してください。
- カメラとコンジットパイプ（配管用ネジ穴 3/4 インチ NPSM）を接続して配線する場合は、あいだを導管ボックス（オプション）で中継してください。導管ボックスとパイプを接続するときは、雨などの侵入を防ぐため、必要に応じてパイプの接続部にシールテープを巻き、汚れを取り除いてからしっかり締めつけてください。また、パイプ取り付け後に必要に応じてシリコンシーラントなどで密閉してください。
- 設置用のオプション品は、防塵防水構造ではありません。オプション品の内側にケーブル接合部が取まっても、オプション品に水がかかる場合は、接合部に防水テープ（同梱）を巻いてください。
- 直射日光が当たる場所に設置した場合は、経年によるくもり（ドーム材質の白濁など）が発生することがあります。
- 本機は防塵防水仕様（IP66）に対応しています。ただし長時間雨水にさらされる場合、雨水中の酸や重金属により外装の腐食などの影響が出る場合があります。
- 屋外に設置したカメラは、トップカバーに雨、雪、霜などが付着し、映像が見えにくくなる場合があります。また、空気中の粉じんや自動車の排気ガスなどの影響により、トップカバーが汚れ、画質が低下する場合があります。屋外設置時は、環境による映像への影響に十分注意して運用してください。

III カメラを設置する

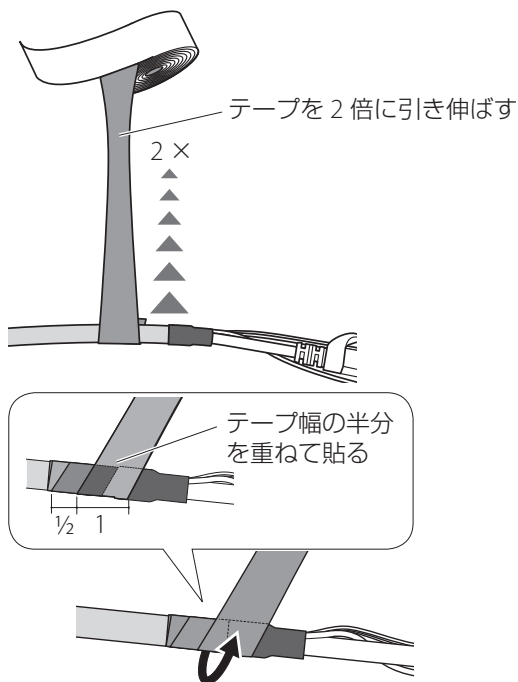
防水テープの巻き方

防水テープは次の手順を参照して巻いてください。

1

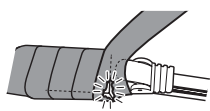
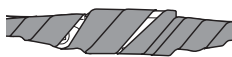
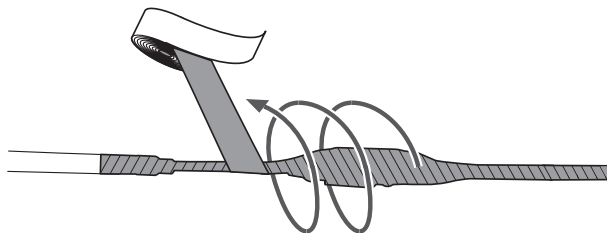
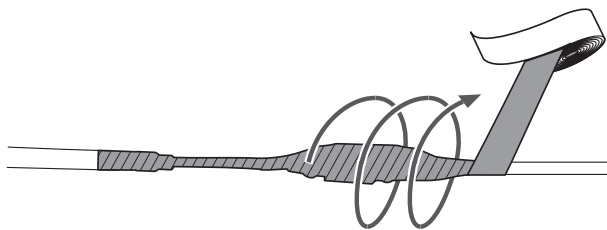


2



III カメラを設置する

3

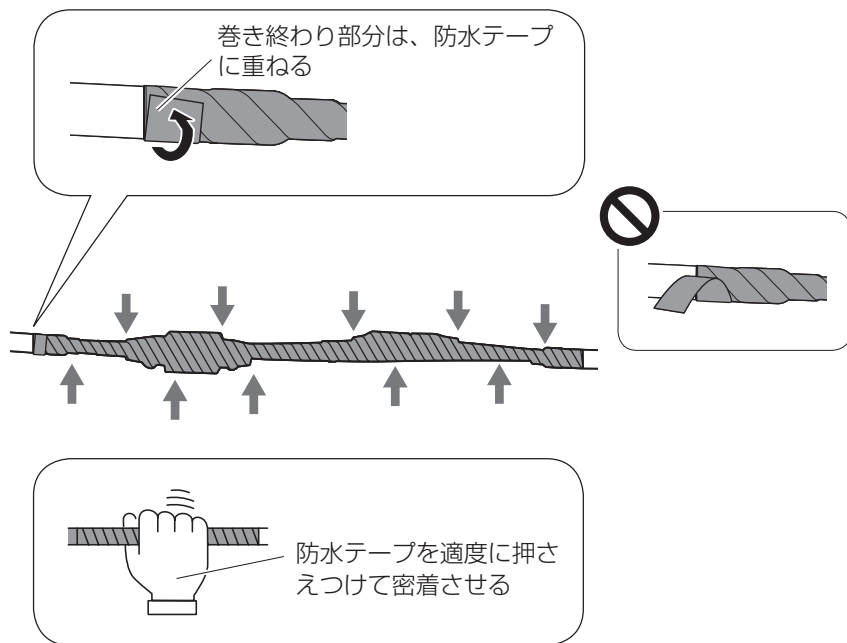


重要

- すき間や剥がれ、破れがないように巻いてください。
- LAN ケーブルのツメを押し込まないように巻いてください。

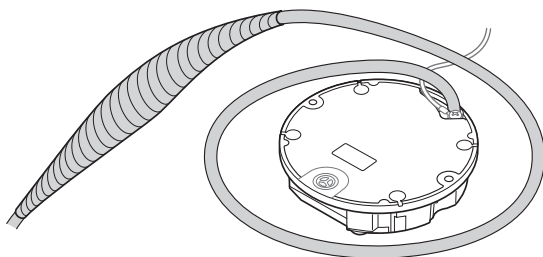
カメラを設置する

4



メモ

- 必要に応じて防水テープを重ねて巻き、補強してください。



カメラを接続する

電源

詳細は、「その他」の「電源」(P.17)を参照してください。

PoE 給電の機器については、販売店へご確認ください。

PoE 給電の機器によっては、ポートごとに使用電力を制限できるものがありますが、制限をかけると正しく動作しないことがあります。この場合は、制限をかけないでご使用ください。

PoE 給電の機器によっては、各ポートの合計消費電力が制限される場合があります、複数のポートを使用する場合に正しく動作しないことがあります。ご使用の PoE 給電の機器の使用説明書をご確認ください。

外部デバイス入出力端子

外部デバイス入出力端子は、IN 端子、OUT 端子、GND 端子の 3 つで構成され、外部デバイス入力端子の GND と外部デバイス出力端子の GND は共通端子となっています。

GND 端子は本体内部の GND に接続されています。

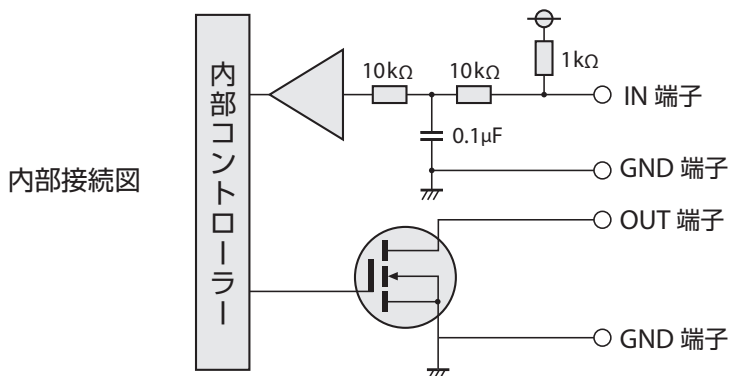
外部デバイス入力と外部デバイス出力を同時に使用する場合は、入力側の GND ケーブルと出力側の GND ケーブルを結合して、使用可能な電線範囲に適合させて GND 端子に接続してください。

外部デバイス入出力端子には、同梱の I/O インターフェースケーブルを使って接続します。



- 1: 青 外部デバイス出力
- 2: 黒 GND
- 3: 緑 外部デバイス入力

カメラを接続する



外部デバイス入力端子

外部デバイス入力端子は IN 端子と GND 端子で構成されています。IN 端子と GND 端子に 2 線のケーブルを接続し、両端子間を電氣的に導通状態または絶縁状態にすることで、ビューワーに通知します。

重要

- 接続するセンサーやスイッチは、内部の電源 /GND と分離された端子を有するセンサーやスイッチを使用してください。

外部デバイス出力端子

外部デバイス出力端子は OUT 端子と GND 端子で構成されています。ビューワーからの制御により、2 端子間を導通状態と絶縁状態に切り換えることができます。OUT 端子は MOS FET 素子を用いています。

外部デバイス出力端子に接続する負荷の定格範囲

| | |
|--------|----------------------|
| 端子間の定格 | DC 最大電圧 50 V |
| | 連続負荷電流 100 mA 以下 |
| | オン抵抗 : 1 Ω 以下 |

■|| カメラを接続する

音声出力端子 LINE OUT (モノラル出力)

カメラとアンプ付きスピーカーを接続します。ビューワーから音声をスピーカーへ送信できます。

- 出力端子 : 3.5 mmミニジャック (モノラル)
- 出力レベル : 最大 1 Vp-p
 - * マイクとスピーカーが近くにあるとハウリングが生じることがありますが、[音声通信方式]を[半二重]に設定すると防ぐことができます。(『操作ガイド』参照)

オプション

次の専用オプションは必要に応じて別途お買い求めください（国または地域によっては販売していないオプションもあります）。

ペンダント設置キット PC30VE-VB

高天井の大型店などで、天井から延びたパイプの先へカメラを取り付けるための専用オプションです。

導管ボックス CB30VE-VB

コンポジットパイプを用いて設置する場合にカメラとコンポジットパイプをつなぐ専用オプションです。

導管ボックスにケーブルは収納できません。

仕様

次に記載のない仕様は、「主な仕様」を参照してください。

■ カメラ部

| | |
|---------|---|
| レンズ | オートフォーカス機能付光学3.5倍ズームレンズ (デジタルズーム 4倍) |
| 画角 | アスペクト比 16:9 の場合 水平画角: 78.5° (W 端) ~ 20.9° (T 端) 垂直画角: 40.8° (W 端) ~ 11.7° (T 端) アスペクト比 4:3 の場合 水平画角: 55.8° (W 端) ~ 15.6° (T 端) 垂直画角: 40.8° (W 端) ~ 11.7° (T 端) |
| パン角度範囲 | 350° (± 175°) |
| チルト角度範囲 | 90° (天吊り時: -90° ~ 0°) 水平方向を 0° とする |

■ インターフェース

| | |
|-------------------|---|
| ネットワーク端子 | LAN x 1 (RJ45、100Base-TX (オート)) |
| 音声出力端子 (LINE OUT) | φ 3.5 mm ミニジャックコネクター (モノラル) LINE OUT |
| 外部デバイス入出力端子 | 入力 x 1、出力 x 1 |
| メモリーカード | microSDメモリーカード、microSDHCメモリーカード、 microSDXCメモリーカード対応 - Class 10 を推奨。 |

■ その他

| | |
|------|--|
| 動作環境 | 温度 使用温度範囲: PoE入力: -25°C ~ +50°C 起動温度範囲: PoE入力: -10°C ~ +50°C 湿度: 5% ~ 85% (結露不可) |
| 保存環境 | 温度: -30°C ~ +60°C 湿度: 5% ~ 90% (結露不可) |
| 電源 | PoE機能: LANコネクターによるPoE給電対応 (IEEE802.3at Type1 規格準拠) |
| 消費電力 | PoE入力: 最大約 6.1W* * 給電装置に対しては、クラス 0 (15.4 W を要求) |
| 質量 | 約 660 g |

安全にお使いいただくために



死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

次の場所には設置しないでください。

- ・強い直射日光が当たるところや発熱体のそばなど、温度が高くなる場所
- ・火気の近くや引火性溶剤（アルコールやシンナー、燃料など）の近く
- ・油煙や湯気が当たるところ
- ・潮風の当たるところ
- ・密閉された狭い場所

火災や感電の原因になります。

- ・使用していないケーブルがあるときは、ケーブルの端部は絶縁処理をしてください。
- ・屋外で使用するときは、防水テープ（同梱）を巻き、確実に防水処理をしてください。

絶縁処理や防水処理をしないと、火災、感電の原因になります。

電源に関する注意

- ・LAN ケーブルに重いものを載せたり、引っ張る、無理に曲げる、傷つける、加工するなどしないでください。

火災や感電の原因になります。

- ・発煙、異音、発熱、異臭などの異常を発見したときは、直ちに使用を中止し、最寄りの販売店にご連絡ください。

継続して使用すると火災や感電の原因になります。

- ・雷が鳴り始めたら、設置や点検などの作業を中止し、カメラや接続ケーブルなどに触れないでください。
- ・分解、改造はしないでください。
- ・接続ケーブル類を傷つけないでください。
- ・カメラの内部に水や金属などの異物を入れないでください。
- ・カメラの近くで可燃性のスプレーを使用しないでください。
- ・カメラを長期間使用しないときは、カメラにLAN ケーブルを繋いだままにしないでください。
- ・お手入れの際にアルコールやシンナー、ベンジンなど引火性溶剤を使用しないでください。

火災や感電の原因になります。

安全にお使いいただくために

- ・ 医療機器などの人命に関わるシステムには使用しないでください。
- ・ PC やネットワークの環境によっては映像の遅延や欠落が発生するため高精度の映像伝送は保証できません。

上記の場合にカメラを使用した結果生じた事故や損害について、弊社は一切の責任を負いかねます。



注意

傷害が発生する可能性が想定される内容を示しています。

カメラの設置および点検は、お買い上げの販売店にご相談ください。

- ・ 電源およびネットワークなどの配線工事は、電気設備技術基準などの関連法規に従い、安全・確実に行ってください。
- ・ 天井や壁などの取り付け場所に、カメラ、オプション品、取付金具などを含む総重量に耐える十分な強度があることを確かめ、必要に応じて十分な補強を行ってください。
- ・ 取り付け用ネジは、設置する場所や材質に適したネジをご用意ください。
- ・ 落下によるけがや機器の破損を防止するため、取付金具やネジのさびつき、ネジの緩みがないか定期的に点検を行ってください。

- ・ 不安定な場所、激しい振動や衝撃のある場所、塩害や腐食性ガスの発生する場所には設置しないでください。
- ・ 強風が吹くところには設置しないでください。
- ・ 設置時には必ずカメラと構造物をつなぐように落下防止用ワイヤーを取り付けてください。
- ・ 同梱の落下防止用ワイヤーはカメラ用です。取付金具には、別途、落下防止の対策を施してください。

落下など事故の原因になることがあります。

- ・ 金属部のエッジがある場合、エッジに素手で触れないでください。
- ・ 設置時に指を挟みこまないように注意してください。

けがの原因になることがあります。

||| 安全にお使いいただくために

重要

- 落雷による故障への対策として、避雷器（サージ防護デバイス）を設置することを推奨します。詳しくは、弊社ホームページをご確認ください。
- レンズ部を手で動かさないでください。
- 不安定なところには設置しないでください。
- 水平に対し±5°以内の角度で設置してください。
- 電源を切った後、5秒以内に再度電源を入れないでください。
- 静電気除去対策をしてから、作業を行ってください。
- 結露がある場合には、結露がなくなってから電源を入れてください。
- 屋外に設置するときは、防水・防塵処理をしてください。

免責事項

- お客様は、本製品の使用に関して、プライバシー保護および肖像権に係る全ての適用法令を順守する責任があります。場合によって、カメラまたは音響機器による監視または記録は、法令により制限または禁止されていることがあり、その詳細は国・地域によって異なります。お客様は、本製品を設置する前に、本製品が全ての適用法令に基づく法的要求を順守した方法によって設置されたことを確実にするために、お客様の国・地域の法令（当該国・地域の州または地方自治体の法令を含む）を確認する必要があります。法令により要求される場合、マイクを使用しないでください。居住者または訪問者がプライバシー確保への期待を合理的に持つ可能性がある場所（寝室、更衣室、トイレなど）に、本製品を設置しないでください。
- 本製品は、映像および音声を監視される全ての人物にとって明らかに視認できるように設置される必要があります。加えて、本製品により監視される全ての人物にとって明らかに視認できるように本製品に近接して目立つように表示された掲示物によって、当該人物に対して本製品が当該人物の映像および会話を記録していることを伝える必要があります。
- 本製品の設置、または、カメラまたは音響機器による監視または記録に関してお客様と第三者との間で紛争を生じた場合において、キヤノンはいかなる責任も負いません。

お問い合わせ先

製品に関するお問い合わせは、サポートページまたはお客様相談センターをご利用ください。

■ サポートページ

<https://canon.jp/support>

■ キヤノンお客様相談センター

0570-08-0074

受付時間<平日> 9:00 ~ 17:00

(土・日・祝日および年末年始弊社休業日は休ませていただきます)

- ・ 上記番号をご利用いただけないかたは 03-6634-4532 をご利用ください。
- ・ IP 電話をご利用の場合、プロバイダーのサービスによってはつながらない場合があります。
- ・ 受付時間は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

修理対応について

修理対応に必要な補修用性能部品の保有期間は、製品の製造打ち切り後 7 年間です。

(補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です)

弊社の判断により、同一機種または同程度の仕様製品への本体交換を実施させていただく場合があります。